

まちづくり提案書(案)に対する意見及び対応(案)

No.	分類	ご意見	対応(案)	ページ
1	市道 139 号線について	<p><都市・地域交通戦略(案)について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりニュース第 6 号を拝読しました。「まちづくり」と「交通戦略」の概要に大旨満足しましたが、下記のように提案します。 ・市道-139 号高安寺西側の道路の歩行空間の改善に満足し賛成しますが、さらに歩行空間を改善し、乳母車とシルバーカーなどが安心してすれ違えるようにして欲しいです。 ・それには、かつてのように、市道-139 号道路を旧甲州街道からかえで通り方向の一方通行に戻して歩道の幅を拡げて欲しいのです。 ・高安寺東側の、鎌倉街道から旧甲州街道方向の一方通行路と下河原線遊歩道を利用して、一方通行に戻した市道-139 号高安寺西側の道路と対になる一方通行路にして欲しいのです。 	<p>ご意見を踏まえ、19 ページの 8 行目に「また、市道 4-139 号線の一方通行化についても検討が必要です。」という文章を追加します。</p> <p>いただいたご提案は参考資料として添付します。</p>	P 19
2	狭あい道路の拡幅について	<p><分倍河原駅西側の狭あい道路拡幅反対だよお～></p> <ul style="list-style-type: none"> ・車あまり入って来ない事で静けさ、排気ガスのなさが保たれてる。 	<p>幅員が 4 m 未満の狭隘道路は、建物の建替え等の際に道路後退をすることが法律で義務付けられており、歩行者通行の安全性確保のほか、災害時における避難救助活動の経路確保など防災性の向上を図るために必要であると考えます。</p>	P 21
3	跨線橋の架け替え	<p>府中市御中、分倍河原駅南側の歩道橋の建て替えを希望します。</p> <p>あまりにも老朽化しいくら掃除をしたところで見た目も非常に汚い。駅を出てすぐの建造物があそこまで古く汚いと街の印象自体が非常に悪い。是非検討をお願いしたい。</p>	<p>跨線橋の架け替えについては、10 ページの「南北の繋がり強化」の中で提案しています。いただいたご提案は参考資料として添付します。</p>	P 10
4	京王線の高架化、JR 南武線の地中化検討	<p><分倍河原駅周辺改造構想私案></p> <p>将来像：「にぎわいがつながり・ひろがる・歩行者中心の人にやさしいコンパクトなまち」</p> <p>実現にむけ都市機能の健康的な発展に欠かせないインフラとしての道路・鉄道路線施設の整備を考える。</p> <p>現在府中市内で最も乗り換え、乗降客の多い分倍河原駅舎及びその周辺交通状況を見ると、ホームにあふれる人々、開かずの踏切を待つ人々、緊急車両をはじめとする多くの車両。</p> <p>今後さらに増えるであろう過密ダイヤ等々・・・・・・・・・・</p> <p>平成 6 年 8 月、分倍河原駅周辺地区まちづくりニュース第 7 号 掲載</p> <p>鉄道の立体化についての検討でも記載されていますが、再度技術面、法制面の検討をお願いします。</p> <p>京王線の高架化、JR 南武線の地中化検討</p> <p>効用として</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 駅周辺の遮断機信号待ちに伴う自動車交通渋滞解消。災害時の緊急車両の利便性向上。 (今後増えるであろう過密ダイヤ対策及び踏切での交通事故「0」ゼロ撲滅推進) ② 南北、東西方向の歩行者空間確保による駅前広場、自由通路創設。 (にぎわい軸、生活軸の形成) ③ 軌道の高度化により生まれた空間の新しい都市施設化。 (代替施設としての店舗床確保、自転車空間サポート用駐輪場及び立体的空間活用の駐車場) ④ 軌道の地下化により生まれた空間の都市施設創出。 (緑道、災害時の防災拠点となる小学校への避難通路確保) (基幹交通手段の輸送力 up : 南武線 6⇒10 両編成可能) <p>※別添 2 枚は平成 8 年作成まちづくり提案書済提出イラスト。(⇒資料 2 - 2 参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由通路南端は現在建っている商業施設 2 階へ接続可能。 ・運営方法によっては北側周辺店舗等商業施設利用者の駐車場としての活用提案 ・都市空間の効率的立体化の推進、積極的都市立地(府中崖線の自然や歴史を生かした景観形成)応用 	<p>鉄道の高架化・地中化については、分倍河原駅周辺の地形や中央自動車道等との交差の問題など課題が多く実現が困難である、と市から説明を受けたため、提案書には掲載していません。いただいたご提案は参考資料として添付します。</p>	P 9、P 10
5	跨線橋の架け替え、改札口の整備、イベント	<p>・(案)にいろいろ述べられていることは、どこにも出てくる内容の羅列に過ぎない。大切なことは、分倍のこの場所性が活かされているのかということだ。かつての状況と変わって、今のここを、どのように変えてゆかかということだ。私は、分倍駅や周辺の商店街を生活の基軸にしていることから、市民たる一建築家・都市デザイナーとして意見を述べさせていただきます。</p>	<p>ご意見を踏まえ、26 ページ 4 行目の「駅周辺の再整備を行う際には、府中崖線の自然や歴史を生かしたものが望まれます」という文章を</p>	P 8

	<p>広場、景観形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今回の計画で忘れてはならないこと、その問題点は、分倍駅が、府中崖線の美しい自然の景観、色彩と地形がなす形態を忘れてきたこと、南武線と京王線のクロスポイントに縦動線を造って、それだけでの対応に限界が来ているにもかかわらず、問題の解決を住民にゆだね、電車会社が、高みの見物をしてきたこと、市役所含め、関係者が地域の自然の美（色彩や形態）の貴重さを忘れ、利便性と経済性だけで走ってきたことにある。崖線の自然の美を失ってきたことへの反省と、そのことの実現が必要ということだ。 現在の跨線橋、造り直すのであれば、現在のハケしたGL+6000を床レベルではなく、GL+9000くらいの床レベルにしていただき、現在の地下トンネルのような移動のためだけの跨線橋の壁ではなく、DPG工法のガラス手すりくらいにしていただいて、富士山も見えるところに配置してほしい。JR沿いの眼下に崖線の緑が望めるような、楽しめる跨線橋広場の空間にしてほしい。そうなれば、当然駅施設（屋根の景観）やハケ沿い空間の手当（自然回復）が必要とされ、ハケ下の小公園には湧水が流れ込む池があつてしかるべき。 駅の改札について、これまで、崖線の景観を苛め抜いて、利便性のみで現在の鉄道のクロスポイントに、縦動線を集中した結果、利用者の増大とともに、朝夕の危険極まりない駅の状態をつくったようだ。京王線はホームの南北に改札を造ること、南武線は、京王線の改札と、ハケ上の商店やハケ下のミナノなどの顧客動線に配慮したうえで、ハケ下に改札を造ることを要望する。現在の駅は跨線橋に付属するイベント広場としてほしい。尚、跨線橋、イベント広場などの床仕上げは腐食しないウッドデッキとしてほしい。 現在、府中市では、2000万円もかけて、周辺の測量など計画してるようだが、そんなものは実施が決まってからでよいのだ。そんなことより、駅改札を移動した場合の、商店街の顧客動線や店ごとの顧客量の変化のシミュレーションを先にすべきで、それを踏まえ、府中市は地域住民に、駅と周辺の整備案（たたき台）を示すべきだ。測量なんてものは、請負契約後、施工会社にやらせて、きちんと設計変更・契約変更するべきことだ。それまでは、フィールドワークスケッチで、スピード感を持った対応が必要だ。既存のまちは刻々と変化しているのだ。そして関係住民には高齢者が少なくない。土木的事務的な硬直的発注作業によるまちづくりでは、民意が反映されないこととなる。京王線関連は交建設計、商店街の顧客動向シミュレーションは構造計画研究所が先行している。 とにかく税金は必要なことから投入すべき。糞の役にもならんことに投入すべきではない。測量とか。ワークショップなんぞほとんど屁のつっぱりにもなっていない。無駄な税の浪費に過ぎない。 その3、創造性を要求される仕事の発注は当然特命随契にすべき。案件ごとにきちんと説明できるように、整理しておくのも役所の仕事。誰でも同じようにこなせる自動装置の構築が自治体の役所の仕組みづくりではない。常に変化する住民需要にこたえるべく絶え間ぬご努力を願いたい。 以下御参考。http://www.next-city.com/main/modules/d3forum/index.php?post_id=819 	<p>「駅舎の改良、南北動線や東西動線の整備などの駅周辺の再整備を行う際には、府中崖線の自然や歴史、眺望を生かしたものが望まれます」に修正します。</p> <p>また、具体的なご意見は今後の参考となるよう、参考資料として添付します。</p>	
6	<p>障害者を排除しない健常者と共生できるまちづくり</p>	<p>*府中市再開発ルシーニュの駐輪場について (⇒資料2-3参照)</p> <p>*健康特区案 上記府中市の歴史資産や既存の諸施設を有機的に接続している緑道に、特に老人施設や障害者の人が自由に歩ける回廊を整備したい、其のためにトイレ、ベンチ等の休憩施設の増設、公衆電話、個人にGPS携帯を保持してもらい、すぐ対応出来る事、監視カメラ等で、安全対策を立て、健常者との協力関係を維持、共有できないものか、施設等の閉鎖空間からの会報はどれだけ人を和ませるか、想像しただけでも楽しくなります。障害者でも自力歩行可能な人、介護付の人で外に出たい意思のある人は自宅に閉じこもらないで、まずは近所の散歩でもいかがでしょうか。健常者や障害者にかかわらず身体を動かせば、少なくとも健康維持にはつながると思うのですが。</p> <p>*まとめ これから何十年と長く使われる施設なので、制度設計は障害者を排除しない、健常者と共生できる施設となるよう切に望みます。今回、分倍河原駅周辺と限定された話なのに、枠を超えた話になり申し訳ありません。</p>	<p>平成8年の「分倍河原駅周辺地区まちづくり提案書」の「まちづくりの考え方」で「交通弱者などに配慮した福祉度の高いまちづくり」を掲げています。今回の提言書の中でも9ページの6行目に「駅前広場や自由通路等の整備等に当たっては、誰もが安全に利用できるバリアフリー化の図られた動線とする必要があります」と記載しています。</p> <p>いただいたご提案は参考資料として添付します。</p>	
7	<p>まちづくりの進め方その他について</p>	<ol style="list-style-type: none"> 分倍河原駅周辺地区まちづくり提案書（案）について <ol style="list-style-type: none"> ①ミナノと既存商店街及び駅内商店の共存共栄のために「商業調整会議」の設置要望を追加して下さい。 ②景観条例・福祉のまちづくり条例・地域まちづくり条例・商店街活性化条例など市条例と関係法令の適合遵守をうたってほしい。 ③代替地の早期確保の要望意見があつたので加筆してほしい。 府中市都市・地域交通戦略（案）について <ol style="list-style-type: none"> ①交通戦略における将来像はまちづくり協議会の議論とくいちがっているのではないか。 ②実施プログラムの手順手続きが検討不足と思われる。説明してほしい。 ③交通戦略協議会に市民参加できるように公募してはどうか。 その他 <ol style="list-style-type: none"> ①周辺住民、駅利用者へ周知するために「まちづくり掲示板」を設置して下さい。A,B,C,D各地区4ヵ所に設置してほしい。 	<p>「商業調整会議」については、まちづくり協議会の「にぎわい検討部会」との関係も整理しながら、今後組織のあり方を検討していきます。</p> <p>ご意見を踏まえ、29ページに「関係法令の適合遵守」と「代替地の早期確保」を加えます。まちづくり掲示板については市と協議します。公聴会については、今後、案の説明会を開催することで広く関係町会も含めご意見を聞く機会をつくりたいと思います。</p>	P29

		②公聴会の開催を要望します。まちづくり対象地域内の周知検討不足及び地域外の意見も反映するために公聴会をぜひ開催して下さい。あらかじめ書面で申し込み、決められた時間内で意見を公述していただく形式です。回答は市役所とまちづくり協議会で検討して掲示してはいかがでしょうか。		
--	--	---	--	--